



大失敗

サムエル記下11章

シリーズ～詩編～

2015/8/16

戦いに行かなかったダビデ

- ダビデは周囲の国々をほとんど平定した
 - 「それは、アラム、モアブ、アンモン人、ペリシテ人、アマレクから得たもの…」8:12
- 最後の敵、アンモン人との戦いには行かなかった
 - 「王たちが出陣する時期になった。ダビデは、ヨアブとその指揮下においた自分の家臣、そしてイスラエルの全軍を送り出した」(1)
- かつては先頭に立って行動した
 - 「人々はみな、ダビデを愛した。彼が彼らの先に立って行動していたからである。」1サムエル18:16

家臣の妻を強奪したダビデ

- ダビデは王宮で昼寝をし、屋上を散歩していた
 - 「ある日の夕暮れに、ダビデは午睡から起きて、王宮の屋上を散歩していた。」(2)
- 屋上から美しい女性が水浴びをしているのを見つけた
 - 「彼は屋上から、一人の女が水を浴びているのを目に留めた。女は大層美しかった。」
- ダビデはその女性の素性を調べさせ、家臣の妻であることが分かった
 - 「ダビデは人をやって女のことを尋ねさせた。それはエリアムの娘バト・シェバで、ヘト人ウリヤの妻だということであった。」(3)
- ダビデはバト・シェバを奪い取った

罪を重ねたダビデ

- バト・シェバが妊娠したと知らされ、夫ウリヤを呼び戻し、ごまかそうとした
 - 「それからダビデはウリヤに言った。「家に帰って足を洗うがよい。」ウリヤが王宮を退出すると、王の贈り物が後に続いた。」(8)
- ウリヤは家に帰らず、王宮の入り口で寝た
- ダビデはウリヤを最前線に送って殺すよう、総指揮官のヨアブに書き送った
 - 「書状には、「ウリヤを激しい戦いの最前線に出し、彼を残して退却し、戦死させよ」と書かれていた。」(15)

決定的大失敗

■ ウリヤの死

- 「町の者たちは出撃してヨアブの軍と戦い、ダビデの家臣と兵士から戦死者が出た。ヘト人ウリヤも死んだ。」(17)

■ ヨアブを励ますダビデ


- 「ヨアブにこう伝えよ。『そのことを悪かったと見なす必要はない。剣があればだれかが餌食になる。奮戦して町を滅ぼせ。』そう言って彼を励ませ。」(25)

■ バト・シェバを妻とする

- 「喪が明けると、ダビデは人をやって彼女を王宮に引き取り、妻にした。彼女は男の子を産んだ。ダビデのしたことは主の御心に適わなかった。」(27)

預言者ナタンによる宣告(12:1~9)

主はナタンをダビデのもとに遣わされた。ナタンは来て、次のように語った。「二人の男がある町にいた。一人は豊かで、一人は貧しかった。豊かな男は非常に多くの羊や牛を持っていた。貧しい男は自分で買った一匹の雌の小羊のほかに／何一つ持っていなかった。彼はその小羊を養い／小羊は彼のもとで育ち、息子たちと一緒にいて／彼の皿から食べ、彼の椀から飲み／彼のふとこゝろで眠り、彼にとっては娘のようだった。ある日、豊かな男に一人の客があった。彼は訪れて来た旅人をもてなすのに／自分の羊や牛を惜しみ／貧しい男の小羊を取り上げて／自分の客に振る舞った。」



ダビデはその男に激怒し、ナタンに言った。「主は生きておられる。そんなことをした男は死罪だ。小羊の償いに四倍の価を払うべきだ。そんな無慈悲なことをしたのだから。」

ナタンはダビデに向かって言った。「**その男はあなただ。**イスラエルの神、主はこう言われる。『あなたに油を注いでイスラエルの王としたのはわたしである。わたしがあなたをサウルの手から救い出し、あなたの主君であった者の家をあなたに与え、その妻たちをあなたのふところに置き、イスラエルとユダの家をあなたに与えたのだ。不足なら、何であれ加えたであろう。なぜ主の言葉を侮り、わたしの意に背くことをしたのか。あなたはヘト人ウリヤを剣にかけ、その妻を奪って自分の妻とした。ウリヤをアンモン人の剣で殺したのはあなただ。』

なぜダビデはこんな大罪を犯したのか

- 信仰厚く、主の前に「無垢」であった
 - ゴリアトに立ち向かい、サウル王に追われても手にはけなかった
- 「無垢」である自分を誇っていた
 - 「わたしは主に対して無垢であろうとし／罪から身を守る。」詩編18:24
- 試練から解放され、スキができていた
 - 自ら出陣せず、王宮で昼寝を楽しんでいた
- 自分の弱さを自覚していなかった

詩編38篇

【賛歌。ダビデの詩。記念。】

主よ、怒ってわたしを責めないでください。
憤って懲らしめないでください。

あなたの矢はわたしを射抜き

御手はわたしを押さえつけています。

わたしの肉にはまともなところもありません／あなたが激しく憤られたからです。
骨にも安らぎがありません

わたしが過ちを犯したからです。

わたしの罪悪は頭を越えるほどになり耐え難い重荷となつています。

負わされた傷は膿んで悪臭を放ちます

わたしが愚かな行いをしたからです。

わたしは身を屈め、深くうなだれ

一日中、嘆きつつ歩きます。

学ぶべきこと

- ダビデほどの人でも罪を犯す
 - 「罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」創世記4:7
- 罪は罪を生む
 - 「欲望ははらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。」ヤコブ1:15
- 罪を自覚することは難しい
 - ダビデはナタンに宣告するまで分からなかった
- 私たちは失敗から何を学ぶか